

ぼらっと

2021年
1月28日発行
94号

発行元 〒020-0541 雫石町千刈田82-2
雫石町総合福祉センター内
雫石町社会福祉協議会ボランティア活動センター
☎：692-2230 FAX：691-1140
e-mail/shizukuishi-vc@shisha.or.jp



助けられる中学生から誰かを助ける中学生へ

昨年、11月の2日間に渡り、雫石中学校1学年132名の生徒を対象に出前講座を行いました。「防災教育と中学生がボランティアとして関わることの学習」をテーマに、日ごろから自分たちでできること、やっておくべきことを考え、誰かに助けってもらう中学生ではなく、誰かを助けられる中学生になるように防災について日々の備えや知識の大切さを学びました。

ボランティアとしてまた、地域の一員としてなにができるのか、講話と実践を交えて学習した内容を紹介します。

《クロスロードゲーム》



突然起こる災害、対応や行動について時には究極の選択をしなくてはなりません。一人ひとりが選択理由を述べ、グループでベストな行動について話し合いました。

中学生の声

- ・自分一人でも生き残ることが大切だと思った(1組男子)
- ・一人一人の意見を否定せず、尊重し合い決断する大切さを学んだ(2組男子)
- ・冷静に判断し行動することで、たくさんの命を守ることができると思った(3組女子)

《避難所運営ゲーム》



避難所で起こる様々な出来事や避難してくる住民に対して、中学生が地域の一員として、どのような活動や対応ができるのかを考えました。

中学生の声

- ・様々な事情を抱えた住民が来るので、避難所運営の難しさを感じた(4組女子)
- ・臨機応変な対応が求められると思った(3組女子)
- ・地域の方々との協力が必要であり、普段からの繋がりを大切にしたい(2組女子)
- ・運営もだが避難する事の重要さにも気づけた(3組男子)

《段ボールベッド製作》



避難所生活を少しでもストレスなく快適に過ごせるように段ボールで出来るベッドづくりに挑戦しました。ダンボールの強度に驚きの声が上がりました。

中学生の声

- ・短時間で簡単に作れるので、いざという時に協力して作りたい(3組男子)
- ・限られたスペースで安心して生活するのに役立つと思った(2組男子)
- ・思っていたよりも丈夫で音や振動を吸収してくれるから快適に過ごせそう(1組女子)

《防災グッズ製作》



物が不足する災害時。普段身近にある、新聞紙やビニール袋を使って食器やポンチョを作り、日頃からの備えの大切さや災害時に必要なグッズについて学びました。

中学生の声

- ・ビニール袋で作ったレインコートは暖かく、普段の生活の中でも代用して使えと思った(3組女子)
- ・家にあるもので他に作れるものがあるか考え、実践したい(2組女子)
- ・災害に備えて家族とも話し合い、防災グッズを準備したい(4組男子)

《防災食作り》



ライフラインが止まってしまった時に手軽に調理ができる防災食作りに挑戦しました。普段はそのまま食べるお菓子がサラダに変身。「意外と美味しい！」の声が上がりました。

中学生の声

- ・火を使わず、簡単に作れたので家でも作りたい(1組男子)
- ・家に防災食はなかったので今から備えておきたい(4組女子)
- ・避難所で美味しいごはんが食べれるのは幸せなことだと思った(3組男子)
- ・食べられるものがあることに感謝したい(4組女子)

《出前講座担当者の視点から》

今回の出前講座を終えて、雫石中学校生徒の皆さんのまとめから、いつ自分の身に起きるか分からない災害に対して、一人ひとりができることを考え自分の命を最優先に行動することで防災意識が高まり被害を最小限に抑えることができるかもしれない。また、自分の町は自分達で守るためにも、地域住民の一員としてボランティア活動や災害時の対応について学び、その中で普段から地域との繋がりを持つことの大切さを実感したとの数多くの声が寄せられました。

この講座で学んだことを活かして雫石町の一役を担う人材になっていってくれることを期待したいです。



『雪んこ見守り隊』いざ!!出陣!!



今年も1月9日(土)より雪かきと見守りのボランティア活動である「雪んこ見守り隊」の活動がスタートし、出陣式が行われました。出陣式と初回の活動の様子をご紹介します。



出陣式スタート!



スノーバスターズ石井代表へ決意表明する雫石高等学校3年中川龍生さん



班ごとに分かれて出発します!



ひょうたんで作った雪だるまを対象世帯の方々へお渡ししました!



訪問先を除雪中!



本格的な除雪を行うスノーバスターズ活動(有償活動)も行っております。詳しくは社協ボランティア活動センターまで!



心温まる贈り物



1月16日(土)に雪んこ見守り隊の活動がNHKにて紹介されました。その放送を視聴された静岡県の方よりこの活動を応援したいと、静岡県産のみかんと心温まるお手紙が届きました。手紙の一文には

「これからも頑張っていて下さい。応援しています。」とあり、思いがけない贈り物により一層活動の意欲が高まりました。

今後も皆さんと協力しながら、雫石町の活動を盛り上げていきたいと思ひます。



活動紹介

社会連携・地域貢献活動

《 いわてグルージャ盛岡 》

プロサッカーチーム《いわてグルージャ盛岡》は、子供からお年寄りまで、健康な人も障害をもつ人も、岩手の人誰もが分け隔てなく気軽にスポーツを楽しめる環境を目標に活動されています。

その活動が雫石町でも展開されており、雪んこ見守り隊の活動や、ふれあいサロンにおいて健康づくり体操、キャップハンディ体験など幅広い活動を行っています。これからもいわてグルージャ盛岡の活動から目が離せません。



キャップハンディ体験



雪んこ見守り隊



スノーバスターズ活動



健康づくり体操

令和3年度ボランティア活動保険の加入受付がスタートしました!

令和3年度のボランティア活動保険の受付が始まりました。加入受付は町社会福祉協議会にて行っております。

詳しくは、ふくしの保険HPをご覧ください。

ふくしの保険HP：<https://www.fukushihoken.co.jp/>

加入プラン	保険料
基本タイプ	350円
天災タイプ	500円